

しこうの 至孝農遺跡現地説明会資料

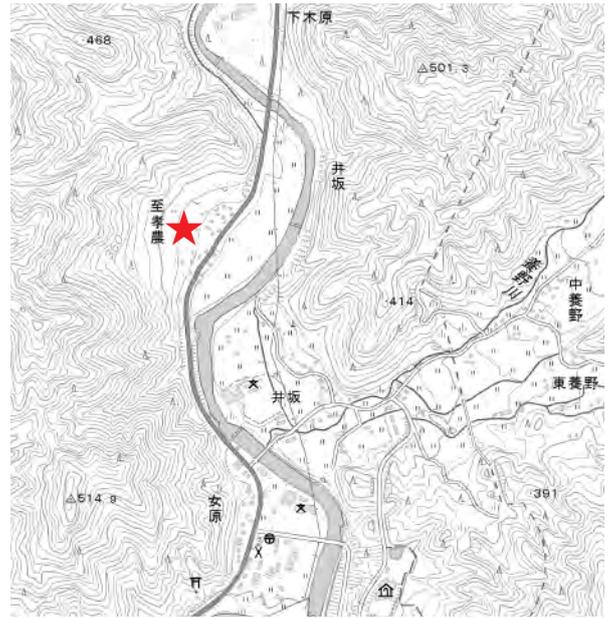
【日時】：令和6年10月23日（水）～25日（金）

【場所】：至孝農遺跡発掘調査現場（鏡野町至孝農）

【主催】：岡山県古代吉備文化財センター

岡山県古代吉備文化財センターでは、令和6年7月から通常砂防事業（カナザコ川）に伴い、至孝農遺跡の発掘調査をおこなっています。

至孝農遺跡は苦田ダムから北に約6.5kmの場所に位置します。この遺跡は江戸時代後期に、たたら製鉄を操業していました。たたら製鉄とは日本独自の製鉄法で、砂鉄と木炭を高温の炉の中に入れ、4～5日ほどかけて鉄を抽出します。



第1図 調査位置図 (1/25,000)



写真1 出土した鉄滓と炉壁（一部）

| 西暦 | ? - 1791 | 1792 | 1795 | 1799 | 1812 | 1815 | 1820 - 1831 | 1832 | |
|------|------------------|---------------------------------------|-----------------|----------------------|-------------|--------------------|--------------------|--------------------------------|----------------------|
| できごと | 「四口野村」でたたらが操業される | 四口野山鉄山の木工利太夫ほか十一名が、銀六十七匁を島根県の金屋子神社に寄進 | 奥津周辺の鉄穴流しが禁止になる | 「四口野村」から「至孝農村」に改称される | 領から津山藩預所となる | 至孝農村ほか十四か村が幕府藩領になる | 至孝農村ほか十四か村が津山藩領になる | 濁水議定証に合意し、至孝農村ほか十四か村が鉄穴流しを再開する | 至孝農村ほか五か村が鉄穴流しの権利を放棄 |

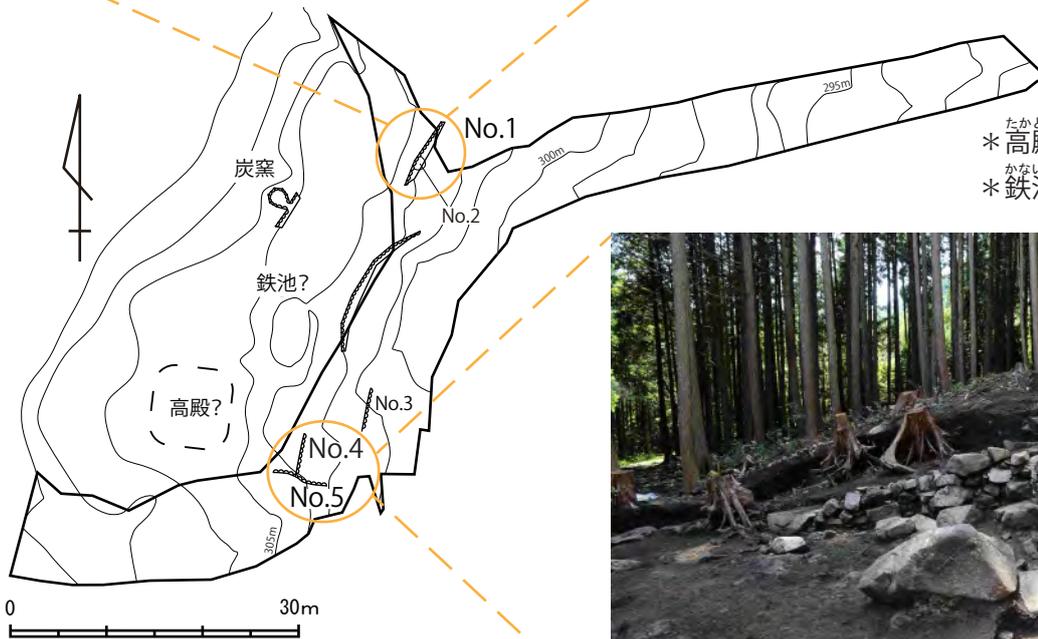
*鉄穴流し…山から崩した土砂を水路や池に流して砂鉄を採取する方法



写真2 No.1石垣（南東から）

今回の成果

- ★石垣周辺には平坦面（造成面）があり、鉄づくりに関係した施設があったと考えられます。
- ★陶磁器や銅銭（寛永通宝）など、人々の生活の痕跡が見つかりました。



第2図 調査区全体図（1/800）

- * 高殿…製鉄炉がある建物
- * 鉄池…できた鉄の塊を冷やす池



写真3 No.4・5石垣（北から）

今回出土した遺物

（ほかにも様々な遺物が出土しています！）



写真4 陶磁器



写真5 炉壁（上）鉄滓（下）

- * 炉壁…壊した製鉄炉の一部
- * 鉄滓…鉄をつくる時にでるカス